

はばたけ 尾張・知多の挑戦者たち

▶ 3 ◀

コーヒー専門店の開店の夢はあきらめない。介護や看病をしながらでも。

コーヒー専門の移動販売店「コーヒー ポライト」店主の杉沢洋介さん（30）＝大治町＝は同町にある洋服店駐車場で、毎週木曜日に店を出す。

立ち上る湯気と香り。三畳ほどのスペースにデントを張り、来店する一人ずつと話し、普段飲むコーヒーの好みなどを聞く。そこから最適な豆を選び、その場で必要な分量だけひいて入れる。

「今はおいしいコーヒーが世の中にいろいろと出回っている。だからこそ、来てくれた人のために作りたい」。実直な姿勢が受け、目当ての常連も多い。だが、二年近く前までは、先がま

移動コーヒー店主 杉沢洋介さん 大治町



和やかに常連客と話しながら、手際良くコーヒーを入れる杉沢さん＝大治町で

介護と両立 夢の一杯

まったく見えていなかった。

テレビ関係の会社に勤

務していた時、奮闘する飲食店オーナーの姿を取材で目の当たりにして思った。「自分の店を持ちたい」。勤務しながら各地のカフェや専門店を巡り、コーヒーの知識を深めた。カフェ開店を夢見て二十五歳で退職。著名

な長野県のコーヒー専門店で働き、入れ方から接客の仕方などを学んでいたさなか、母からメールが届いた。手根管症候群。手にしびれが走り「心配しないで」という文面とは裏腹に症状は重く、母は仕事を辞め、家事もできなくなっていた。母子家庭で、苦労しながら育ててくれた。「今度は自分が助ける番」。修業は断念し、大治町の実家に戻った。

看病や介護をしながら睡眠時間を削ってアルバイト生活。夢が離れていく気がした日々の中で思った。「今の自分にできるコーヒーを入れてみたい」。そんな話を何げなく行きつけの美容室でしてみた。返ってきた言葉は、夢の歩みを進めるが道を開いた。「うちの駐車場で移動販売をやっ

（酒井博章）



介護離職 厚生労働省によると、親の介護が理由で仕事を辞める人は年間約10万人。一方、介護休業の取得率は2012年現在で3.2%と低迷している。国は本年度、従業員が介護休業や始業時間を選べる時差出勤などを利用した企業への助成金を創設。「介護離職ゼロ」の実現を掲げる。

(c)中日新聞社 無断転載、複製、頒布は著作権法により禁止されています